

社会・集団・家族心理学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》田鍋 佳子 (非常勤講師 lc-yo-tanabe@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

人間は社会的動物である。集団内での人々の相互作用が社会を生みだし、また一方、人間の社会的判断・行動の性質は社会を適応環境として、他者との相互作用の中でうまく機能するかたちで獲得されてきたと考えられている。この講義では、人間の備える社会的認知や判断、行動の性質について学び、人間行動や社会現象を科学的視点から捉えることができるようになることを目的とする。

【学修目標】

対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程を説明できる。
人の態度及び行動についてさまざまな理論を用いて説明できる。
集団及び文化が個人に及ぼす影響について概説できる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。